

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2024.8.1

No.198



主な内容

- ◆定例会の審議結果 …… 2～3P
- ◆議案クローズアップ …… 2P
- ◆委員会審査の概要 …… 4～5P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…………… 6～13P
- ◆議会日誌・議会を傍聴しました
…………… 14P
- ◆行政視察の報告 …… 15P
- ◆編集後記・お知らせ …… 16P

令和6年市議会第2回定例会
一般会計補正予算案などを議決
補正後総額240億9,203万3千円

写真提供：渡辺順次氏

定例会の審議結果

令和6年

第2回

定例会

令和6年6月6日に美濃加茂市議会第2回定例会が開会され、会期を6月27日までの22日間と決定しました。その後、総額262億4,324万2千円の令和5年度一般会計補正予算（第9号）を含む24案件（請願2件含む）を上程し、提案説明を行いました。

そのうち、太田小校舎外部改修及び体育館大規模改修建築工事の請負契約の締結についてを含む計4議案については、質疑、採決まで行い、請願については委員会付託しました。

また、副議長選挙と中学校組合議会議員の選挙では山田栄議員が新たに当選し、散会しました。

第22日目（最終日）は、初日に採決した6議案（選挙2件を含む）を除く18議案（請願2件を含む）について、各常任委員会と議会運営委員会の委員長報告の後、討論、採決を行いました。

また、最終日に追加上程された議第62号、議第63号の2議案については提案説明、質疑、採決を行い、定例会を閉会しました。

平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

このたびの臨時会におきまして、副議長に就任いたしました。多様な意見を集約し、公正かつ円滑な議会運営に全力を傾けて取り組んでまいり所存です。

市民の皆様におかれましては、引き続き議会へご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



副議長
山田 栄

第2回定例会において、各委員会の構成が下記のとおり変更されました。

- ◆ **議会運営委員会** 委員長：田口 智子 副委員長：高井 実枝
委員：村瀬 正樹 森 厚夫 坂井 文好 渡辺 孝男
- ◆ **文教民生常任委員会** 委員長：金井 文敏 副委員長：柘植 宏一
委員：永田 徳男 瀬瀬 源太 坂井 文好 森 弓子 田口 智子 岸 一夫
- ◆ **企画建設常任委員会** 委員長：渡辺 孝男 副委員長：谷本 梓
委員：山田 栄 渡邊 一子 亀井 滋昭 高井 実枝 村瀬 正樹 森 厚夫
- ◆ **予算決算常任委員会** 委員長：山田 栄 副委員長：渡邊 一子
委員：全議員

議案 クローズアップ

議第62号

議会の規律（コンプライアンス）決議について

本年4月3日に発生した当美濃加茂市議会議員による不適切行為についての問題は美濃加茂市・ダボ市の今後の友好関係を危惧するものでありましたが、当市の謝罪をダボ市側においては5月10日付で受け入れていただき、従前通りの関係に修復されました。

しかし、初動において問題を過小評価したという判断ミスにより被害に遭われた当事者はもとより関係各位及び美濃加茂市民に多大なご迷惑をお掛けしました。

議会の機能の正常化のために議会のルールづくり、体制づくり、情報の開示等の取り組みは喫緊の課題であります。

我々議員は市民の代弁者の責務を果たす為、これまで以上に襟を正し、議会の規律を守るため、議員の規範意識・ハラスメント意識の向上に向けた活動、ルールづくり及び改正等取り組むことにより同様の問題が2度と発生しないよう議会活動に務めます。

以上、決議する。

定例会の審議結果

議案の審議結果

全会一致で可決（採択）された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第3号	専決処分の承認を求めることについて 令和5年度美濃加茂市一般会計補正予算（第9号）	1,750万円の増額、予算総額は262億4,324万2千円
承第4号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市小口融資条例の一部を改正する条例について	副市長二人体制に伴い所要の改正を行ったもの
承第5号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	基準府令の改正に伴い重要事項のインターネットによる公衆の閲覧に供する、幅広い記録媒体の使用を可能とするアナログ規制の見直しを行ったもの
承第6号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	基準省令の改正に伴い幅広い記録媒体の使用を可能とするアナログ規制の見直しを行ったもの
承第7号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い所要の改正を行ったもの
承第8号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市都市計画税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い所要の改正を行ったもの
承第9号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い所要の改正を行ったもの
議第49号	美濃加茂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	基準府令の改正に伴い保育士の配置基準を見直すもの
議第50号	美濃加茂市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	地方自治法の一部を改正する法律が施行され、会計年度任用職員に対して期末勤勉手当を支給することに伴い、育児休業をしている職員に係る期末勤勉手当の支給対象に会計年度任用職員を含めるため所要の改正を行うもの
議第52号	令和6年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第1号）	799万7千円の増額、予算総額は51億3,416万円
議第53号	令和6年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第1号）	104万4千円の増額、予算総額は41億5,230万円
議第54号	令和6年度美濃加茂市水道事業会計補正予算（第1号）	資本的支出の補正
議第55号	令和6年度美濃加茂市下水道事業会計補正予算（第1号）	資本的収入の補正、企業債の補正
議第56号	太田小校舎外部改修及び体育館大規模改修建築工事の請負契約の締結について	美濃加茂市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、契約について議決を求めるもの
議第57号	市道路線の認定について	市道中蜂屋569号線の認定
議第58号	美濃加茂市固定資産評価員の選任について	人事異動に伴う後任評価員の選任同意（大杉善洋氏 新任）
議第59号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の任命同意（中西東峰氏 新任）
議第60号	岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約の変更について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律等の施行に伴い、広域連合規約の一部を改正するもの
議第62号	議会の規律（コンプライアンス）決議について	議会の規律を守るため、議員の規範意識・ハラスメント意識の向上に向けた決議
議第63号	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書について	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書を国に提出する
請第1号	選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての請願について	選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書を国及び政府に提出することを求めるもの

※請第1号については、委員会の趣旨採択とした審査結果に対する審議結果。

議案の審議結果

その他（賛否が分かれたなど）の議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名															
			谷本 梓	亀井 滋昭	高井 実枝	額 源 太	渡 邊 一 子	田 口 智 子	永 田 徳 男	坂 井 文 好	岸 一 夫	渡 辺 孝 男	村 瀬 正 樹	金 井 文 敏	柘 植 宏 一	森 弓 子	森 厚 夫	山 田 栄
議第51号	令和6年度美濃加茂市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	-	○	○
議第61号	永田徳男議員に対する辞職勧告決議案について	×	○	○	×	○	×	×	除	×	×	×	○	○	×	-	○	×
請第2号	永田徳男議員に対する議員辞職勧告決議を求める請願について	×	○	○	×	○	×	×	除	×	×	×	○	○	×	-	○	×
選第1号	副議長選挙		山田 栄議員 当選															
選第2号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会議員の選挙		山田 栄議員 当選															



委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各委員会にて詳細を審査しました。

※ 《 》は議案名、◆は主な内容、()は補正金額

予算決算常任委員会

《令和5年度市一般会計補正予算（第9号）》

◆低所得世帯生活支援特別給付金（1,750万円）

問 給付金の支給は終了しているのか。

答 申請の締切は終了しており、5月10日までに支給は完了している。

《令和6年度市一般会計補正予算（第1号）》

◆公共施設予約管理システム導入等（943万2千円）

問 事業の詳細は。

答 現行のシステムを利用している施設を対象として、新しいシステムに入れ替える。基本的には現行と同様な取扱いとなるが、施設により予約できるタイミング等、違いがあるので、それぞれ施設で対応を検討していく予定である。

◆新庁舎整備事業（1,050万9千円）

問 事業の詳細は。

答 令和6年3月下旬に、4候補地が決定したことに伴い、補正予算で計上している。そのうち、740万円ほどが、畜産研究所を対象とした地質調査の金額である。これは、岐阜県の公表のデータで液状化の可能性が高い場所であり、地質、土の状況、地盤の状況を確認するために、ボーリング調査を行う。1つのポイントで行うが、市内には何箇所か地質のデータがあり、その周りのデータと連携させて、今回の対象地の地質が確認できる。

◆市庁舎等施設管理・改修事業（638万7千円）

問 工事の内容は。

答 本庁舎3階の老朽化しているシャッターの改修工事であり、建築基準法に基づく防火設備点検で指摘を受けたことに伴い、安全を確保するために実施するものである。

◆古井第一保育園跡地駐車場等整備（3,877万5千円）

問 整備の内容と駐車台数は。

答 工事の内容は駐車場整備が中心となる。舗装、フェンスの敷設、周辺の側溝の敷設、出入口にチェーン内蔵のポールの敷設になる。また、台数

については、思いやり駐車場や身障者用の駐車場を含めて、70台分の駐車場スペースを予定している。

◆退職消防団員報償（621万円）

問 退団者数は。

答 3月末で退団した団員が37名おり、そのうち、退職報奨金に該当する団員が23名である。



《令和6年度市介護保険会計補正予算（第1号）》

◆配食サービス事業補助金（104万4千円）

問 増額の理由は。

答 NPO法人にも確認し、利用者の定期健診の結果が健康的な食事をとっており、良好だったということで、利用者を中心に口コミで広がっている。また、要支援者の希望に対して、ケアプランに採用されることが多くなったことが理由である。

《令和6年度市水道事業会計補正予算（第1号）》

◆長期貸付金（-2億3,200万円）

問 下水道事業会計への長期貸付金を減額補正する理由は。

答 資本費平準化債は、もともと資本平準化債の元金償還金分を借りることができなかったが、これが拡充され、令和6年度から資本費平準化債の元金償還金分を借入することができるようになった。これにより、今まで水道事業会計から借入していた長期借入金を地方債で借りるように、補正をしている。

問 地方債にすると安く借りられるのか。

答 安く借りられるわけではない。水道事業会計も潤沢に資金があるわけではなく、水道事業会計からこのまま借り続けると、水道事業会計の経営を圧迫していく可能性がある。そのため、地方債から借入をするものである。



委員会審査の概要



文教民生常任委員会

《市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について》

固 保育士1人で受け持つ児童数についての見解は。

罫 国の定める配置基準については最低基準になっており、様々な保育環境の状況下で、保育士が十分な保育を展開できていないのが現状である。

市内の公立園においては、今年度秋頃、里山保育の指針の策定を行い、子ども中心、遊び中心の保育をするためには保育士をどのくらい配置したらよいかを定め、まずは公立園でそういった保育を展開していき、将来的には私立園にも展開していきたい。

《岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約の変更について》

固 資格確認書の他には何が含まれるのか。

罫 資格情報のお知らせ、特定疾病療養受療証、限度額適用認定証である。

《選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書の提出についての請願について》

本請願すべてを採択するものではなく、願意を採択する旨の発言に基づき採決した結果、趣旨採択すべきものと賛成多数で決した。

・主な賛成意見

世界において夫婦同姓を決めているのは日本だけである。姓を選べることが重要であり、強制するのはおかしい。

最高裁の多数意見も選択的夫婦別姓制度の合理性は否定しておらず、国会で判断されるべき事柄とされ、国会での議論を促している。

経団連も政府に導入を求めて要望書を提出しており、家族の一体感というのは愛情であって名前ではない。

・主な反対意見

家族として名字が違うという現象が起きると、家族制度の崩壊につながっていく。

選択的夫婦別姓の趣旨には、賛成するが、子どもの権利、遺産相続の権利等の法整備が追いついておらず、まずは民法等の法整備をしてから、選択的夫婦別姓は導入すべきであり、本請願は趣旨採択とすべきである。意見書の内容は改めて委員会で協議する必要がある。

企画建設常任委員会

《専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市税条例の一部を改正する条例について》

固 令和6年能登半島地震災害に係る雑損控除額等の特例の改正の経緯は。

罫 能登半島地震関連の項目については、地方税法の一部改正に伴う改正であり、今後も地方税法が改正されれば、基本的に税条例についても該当の項目については、改正していく。

議会運営委員会

《永田徳男議員に対する議員辞職勧告決議を求める請願について》

賛成少数のため不採択と決した。

・主な賛成意見

不適切な行為をした議員の責任は、副議長の辞職と会派の離脱で解決したとは、市民の方には理解していただけないと思う。

1人の議員の事だが、美濃加茂市議会として意思表示をすべきである。辞職勧告決議を出さないということは、許されていいという解釈になってしまう。議会の良心に照らし、いけないことははっきりと言うべきである。

・主な反対意見

2次会での不適切な行為について、かばうつもりはないが、5月14日付のマシュー市長からの公式文書では、「当時、その出来事はそれほどのストレスを私に与えませんでした。今のメディアからの注目の方が、実際の出来事よりもストレスになっている。」と書かれており、それ以上でもそれ以下でもない。

議員が議員に対して辞職勧告をするのではなく、出処進退は自身で考えるべきである。

議案や条例案の概要は、下記からご覧いただけます。

■美濃加茂市議会ホームページ

<https://www.city.minokamo.lg.jp/site/gikai/>

■閲覧方法

トップページ

本会議日程と議案

令和6年 第2 回定例会



市政一般に対する質問と答弁

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



森弓子 議長

美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



視聴方法

トップページ

会議名一覧

令和6年第2回定例会

6月18日・19日

一般質問

会議録検索システム

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



高井実枝 議員

水道事業について

問 能登半島地震派遣から得られたものは。

答 高岡市に職員2名、七尾市にのべ12名の職員が給水応援に行っており、断水が長期間になると市民生活に大きな影響があることを肌感覚で実感した。大規模災害が発生した場合は応急給水と復旧の2つの対策を同時に行う必要があるため、当市も水道BCPを策定し、給水については地域防災計画を基に訓練をしている。

問 耐震化の状況は。

答 浄水場、配水池、調整池の耐震化は完了し、水道基幹管路は77.8%が耐震に適合している。液状化対策の既存管路継手部補強は費用が膨大で困難であり、老朽管更新時に耐震管への更新予定である。

問 防災時利用の井戸水の把握状況は。

答 令和2年度に災害時協力井戸登録制度を施行し現在登録件数は14件である。

問 水道事業の民営化について。

答 民営化は全く考えていない。県の東部広域水道受水地域による広域化の検討を進める。

連絡所について

問 地域協働センターにする構想の状況は。

答 体制整備は名称変更含め進んでいないが、都市計画マスタープランにある連絡所機能の強化充実について変更する予定はない。

問 自治会要望の受付とその課題解決状況は。

答 年間1回だった令和2年度は286件対応率23.1%、随時要望になり令和5年度は165件対応率50.3%になった。道路破損などは、発見した方が電話や公式LINE等で、情報提供する体制になったため自治会要望は減少している。

問 災害時の避難所開設、要援護者台帳の管理は。

答 連絡所は災害時の一次避難所指定であり大雨、台風の際、避難所として開設する。災害発災初動時は複数の課で構成する避難所班が施設管理者と協働し避難所を開設予定である。要援護者台帳は鍵のかかる場所で厳重に管理をしている。

問 連絡所の人員増加は。

答 地域のことを地域で考えることが必要不可欠である。連絡所体制、人員増加も含め検討する。

市政一般に対する質問と答弁



金井文敏 議員

奨学金支援制度について

問 本市での実施の考えは。

答 地方創生の観点から、奨学金返還支援は、若い世代の地域定着を促すひとつの手段として捉えつつ、子どもたちの進学や就職等将来の夢とともに、どのような分野の人材が必要であるかを絞り、双方の希望がかなえられるよう、企業等とも連携した仕組みを作ることができるよう、取り組んでいきたい。

聴覚補助機器の活用施策について

問 軟骨伝導イヤホンの活用は。

答 軟骨伝導イヤホンは耳の周辺の軟骨を通して、音を伝える軟骨伝導のしくみを活用したイヤホンで、窓口のように複数人が使う環境でも、衛生的とされている。本市としても、必要と思われる部署に軟骨伝導イヤホンを設置し、利用状況や効果を検証していきたい。

問 来庁者への配慮は。

答 来庁される皆様への配慮は、相談しやすい雰囲気をつくり、表情や言葉づかいに気を配り、丁寧で迅速な対応が大切であると考えている。軟骨伝導イヤホン導入後は、ホームページなどで周知し、来庁された方には、状況に応じて活用を促し、部署間でも連携して、会話がスムーズにできるよう、配慮していきたい。

子宮頸がん対策について

問 子宮頸がん検診の受診率は。

答 子宮頸がん検診の受診率は、令和3年が13.1%、令和4年が13.2%、令和5年は見込み値で12.9%である。

問 受診率向上施策は。

答 検診対象者全員に健診申込調査の実施に併せ受診勧奨を行い広報みのかもやホームページ、すぐメール、各種イベント等でも啓発を行っている。なお、昨年までの20歳の自己負担無料に加え、今年度からは、25歳になる人も自己負担金無料で受診できるようになり、併せて案内を行っている。



谷本 梓 議員

あじさい保育園付近道路のゾーン指定について

問 市のこれまでの対応は。

答 交通安全上危険と考えられる箇所に、安全対策を講じられないか、関係機関と協議を行ってきた。保育園駐車場と園舎の間にある市道に横断歩道の設置は困難とされ、現在代替策として、両側の歩道に「とまれ」の足型表示などの対策を講じ、国道沿いの出入口に係る植え込みを国土交通省が除去した。しかし、園の周辺区域には、総合的な安全確保対策ができていないのが現状である。

問 保育園周辺のキッズゾーンやゾーン30の導入は検討されているか。

答 保育園周辺を、キッズゾーン及びゾーン30プラスの区域に設定できないか、市・防災安全課及び土木課、加茂警察署交通課など関係者との協議を開始した。

問 他市では保育園周辺のキッズゾーン指定が実現しているが可能か。

答 キッズゾーンの指定は、許可申請は不要であるが、注意喚起が目的で交通規制は伴わないので、今後協議を重ねていく中で、ゾーン30やゾーン30プラスを含めて検討をしていきたい。

ゾーン30等の指定は、交通規制や狭さく等の対策を伴い、区域内住民の生活に影響が出るので、協議を進める中で地元の同意を得た上で、加茂警察署を通じ、県の公安委員会の許可を得る事となる。

問 申請許可が下りた場合、市で負担との事だが、具体的な対応は。

答 地域との合意形成が得られた際には、路面着色や標識等があり、費用負担については、警察と協議していく。

ゾーン30プラスは、エリア内に道路幅員を部分的に狭める障害物などの物理的デバイスが道路管理者で設置することになるので、他の自治体の事例を調査し、国や警察と連携して取り組んでいく。

キッズゾーンやゾーン30、ゾーン30プラスについては、あじさい保育園に限らず、市内すべての幼稚園、保育園についても調査していきたい。

市政一般に対する質問と答弁



渡辺孝男 議員

高齢者の生きがい健康づくりについて

問 あい愛バスの利用者を増やす方法として高齢者の意見を聞く事も重要と思うが市の考えは。

答 今年度は、第3次の「地域公共交通計画」の策定に向けて、「おしゃべり喫茶」のような地域懇談会を開催し、気軽に参加でき、気軽に意見が話せる場を可能な限り設けたいと考えている。この地域懇談会の中で、新しい公共交通システムとして検討している、「AIデマンドバス」についても、高齢者の方をはじめ、1人でも多くの意見を伺いたいと考えている。

問 市として100年時代に結び付ける具体的な方策はあるか。

答 人生100年時代には、すべての人が元気に、安心して暮らすことのできる社会をつくることが重要な課題である。市では、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症予防として効果がある、回想法やコグニサイズ^{*}の体験、身体機能の向上、運動

習慣の定着化を図る介護予防教室を実施することなど、今後も高齢の方々が生きがいを持って、元気でいきいきと生活できるよう、支援をしていく。

高齢者の事故防止について

問 「自転車シミュレーターを活用した自転車運転体験出前講座」が県にあるが、高齢者の事故防止のために利用したらいいと思うが市の考えは。

答 令和5年現在、県内の全死者数50名のうち、高齢者の方は39名となっており、高齢者が占める割合は約80%と増加している。自転車体験シミュレーターを活用した、自転車安全運転体験出前講座は、県が委託する事業者が会場まで出向き、自転車の運転環境を疑似体験するほか、県内の交通事故の発生状況等の説明など、自転車の安全な走行を学べる参加体験型の出前講座である。今後、高齢福祉課や社会福祉協議会等の関係機関と連携し、健寿会やサロン等に広く周知し事故防止に努めたい。

※コグニサイズ…国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題（計算、しりとりなど）を組み合わせた、認知予防を目的とした取り組みの総称を表した造語です。英語のcognition（認知）とexercise（運動）を組み合わせcognicise（コグニサイズ）と言います。



田口智子 議員

ゴミ収集の課題について

問 民間開発による、戸建て住宅のゴミ集積所設置条例について。

答 市からは開発事業に対し、ゴミ集積所を管理する自治会に分譲戸数分のゴミの増加を事前に相談することや、トラブル防止の為に、分譲住宅購入者に対して自治会の加入を勧めることを条件として付している。現時点での条例の改正は予定していない。

問 自治会未加入者が利用できるゴミ集積所を、行政側の責任で設置できないかという市民の声が多いが検討できないか。

答 自治会未加入者等を対象とした、市民であれば誰でも利用できるゴミ集積所については、設置箇所数や場所について現在、具体的な制度設計を行っており、R7年度予算に計上していきたい。

問 ゴミの戸別回収の予算と検討は。

答 自宅前に出された可燃物を回収する戸別回収については、収集運搬事業者の人員やパッカー車等の

確保が必要なことから、現在の委託料の3倍程度になるものと試算している。

人口減少・高齢化、価格高騰を考慮した見直しについて

問 公共施設使用料、行政サービス手数料の価格の見直しは。

答 手数料に関しては、原則として3年ごとに見直している。H24年度の改定以降、据え置きとしてきたが、施設の老朽化に伴う管理費、運営経費や電気代などの費用の増加や物価高騰などを考慮し、使用料に関しては改定の作業を進め、9月議会に上程予定である。行政サービス手数料に関しては、証明書交付に係る経費も増加しているが当面は現行のままでの運用で考えている。

問 公共施設の維持管理費も年々増加していくが、新庁舎建設費にかかる予算提示を9月議会までに提示することは。

答 他の老朽化した施設の修繕費を考慮すると、庁舎にはお金を掛け過ぎず低コストでの建設を考えている。現在、専門家を含めて調査中であるため、11月頃には示したい。

市政一般に対する質問と答弁



渡邊一子 議員

保育士不足について

問 保育士が足りていると思うか。

答 日中の時間帯は、比較的保育体制が整っているが、午前7時から9時半までの早朝の時間帯、15時半から18時半までの夕方の時間帯については、不足している。

問 不足しているにも関わらず、川辺町へ美濃加茂市の保育士と川辺町の一般職を交換したのは何故か。

答 令和4年度、川辺町長より依頼があった。この時点では、1名であれば派遣可能と判断した。こういった要請は、なかなかないことであり、定住自立圏の中心市として、その要請に応えた。

問 保育士不足の対策、解決策を考えているのか。また、その成果はあったのか。

答 保育士配置のさらなる改善、早朝、夕方勤務の時間給会計任用年度職員募集、人材派遣会社からの保育士派遣などの調整を進めている。しかし、なか

なか応募がないのが現状である。

問 他の市町より、時間給が安いのは何故か。

答 他の市町と同レベルまで上げるよう検討する。

問 保育士不足の原因は何か。

答 未満児の増加、個別の配慮が必要な児童の増加、保護者の育児等ストレス、家庭環境の不安定さ等による家庭支援を行わなければならない家庭の増加、11時間保育を利用する児童の増加があげられる。

問 保育士の働く環境は良いと考えているか。

答 主任保育士がフリーになるなど、以前より労働環境は、少しずつ改善され良くなってきている。しかし、子どもの命を守ることや、子どもの育ちを考える観点から、国の配置基準通りでは、足りないと感じている。

問 公立保育園の統合はどうしていくのか。

答 将来的には、統廃合や民営化を進め、公立園は、あじさい保育園、山之上保育園、ほくぶ保育園の3園となる計画である。

問 里山保育を今後どうしていくのか。

答 里山保育を進めるには、先生方、専門家の協力が必要だ。子ども主体の保育を進めていくには、国基準の保育士配置では足りないと考えている。



村瀬正樹 議員

通学路の安全対策について

問 ゾーン30、ゾーン30プラス、スクールゾーン、時間帯による通行規制、速度規制等の設置状況と実効性は。

答 ゾーン30は、古井小及び山手小付近のほか、市内で3カ所設置されているが、ゾーン30プラスの設置は、現在されていない。時間帯による通行規制は、学校付近の通学路に6カ所ある。

速度規制や通行規制等による実効性については、違反取締りの対象となるので、実効性はあると考えるが、地域住民への影響や、他の道路を抜け道として通るなどの課題もある。

問 保護者の車による児童送迎を減らすことについて。

答 児童生徒の車の送迎は、校舎敷地周りの路上及び私有地での駐停車が、児童生徒の安全な登下校の妨げや地域住民の迷惑になることがある。保護者集会や保護者向けの文書等で交通マナー等を注意喚起

し、安全対策に努める。

問 ガードレールの設置状況と増設は。

答 令和3年、小学校の通学路における2車線道路の交差点で児童が待機する13カ所に、ガードパイプを設置した。県においても、国道418号線の道路においてガードパイプ設置工事を推進して頂いており、今年度も工事に着手している。市も設置要望のある個所を調査し、ガードパイプなどの安全対策を令和7年度から事業化するための検討をおこなっている。

問 免許返納者への特典は。

答 市では、運転免許を自主返納された場合、警察や運転講習センターで交付される運転経歴証明書の交付手数料1,100円の補助をしている。

民間では、多くのタクシー会社の運賃の1割引き、長良川鉄道の2年間5割引き、東濃鉄道のバス運賃の5割引きなどもある。



市政一般に対する質問と答弁



坂井文好 議員

新庁舎建設について

問 立地適正化計画との整合性は。

答 立地適正化計画は、住宅と生活サービスに関連する医療、福祉、商業等の利便施設がまとまって立地するよう、ゆるやかな誘導を図りながら、公共交通と連携したまちづくりを進めるもので、市役所は都市機能誘導区域内に誘導することになっている。

4つの候補地の中で、畜産研究所周辺が都市機能誘導区域外となっており、仮に整備地に決定した場合には、立地適正化計画の見直しを検討することになる。

問 まちづくりとの関連性は。

答 令和4年度に実施した「新庁舎整備における市民アンケート」において、「新庁舎整備において最も大切にすべき視点」は、「市民の暮らしを守るため、地域防災拠点として機能する庁舎」が最も多く、2番目には「様々な活動の拠点として市民が気軽に集まりやすい庁舎」という結果だった。

また、令和5年度に実施した「新庁舎の機能・複数候補地に係る市民アンケート」において、「新庁舎の機能について特に必要だと思う項目」は、「総合窓口」や、「わかりやすい案内サインや動線」を求める声が多くあった。

ワークショップや市民アンケートにおいて多様なご意見をいただいております、これらを踏まえ、機能的に運動したまちづくりの視点も必要であると考えている。財政的な問題もあるが、できる限り民意を反映できるまちづくりを心掛けていく。

問 自然災害への想定は。

答 新庁舎の建設においては、Is値を0.9とすることで、大地震後も構造体の補修をすることなく建築物を使用でき、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られることを目標としている。

また、水害については、木曾川は計画規模100年に1度の降雨と、想定最大規模1,000年に1度の降雨を、加茂川は30年に1度の降雨を想定している。

自然災害に対応できる設備や機能を整備することを念頭に置きつつ、日常的な新庁舎の役割が果たせることを重要視しながら新庁舎の整備を進めていく。



柘植宏一 議員

新庁舎の候補地について

問 旧整備地案は市商業ビル、市街地再開発事業などの「そもその課題」と関連して提起されたことに価値があったと考えられるが、新たな4候補地の選定における検討は。

答 複数の候補地12カ所を示した際に、「そもその課題」も検討したうえで情報提供している。それを基にワークショップや市民アンケートを実施し、4つの候補地が絞り込まれた。

問 旧整備地案に対する反対意見では駐車場不足、や浸水害の危険性が指摘されていたが、新たな4候補地の選定における検証は。

答 市所有地で不足する場合には、半径500m内に補完する施設で、必要不可欠と判断した場合には用地買収も視野に入れる。浸水害については、電源等の基幹施設を高層階に設置することや、文化の森を災害対策本部の代替施設として利用することなどで対応する。

問 大手町公園周辺については。

答 仮に大手町公園が新庁舎整備地になった場合、都市計画決定の変更を行うとともに、都市公園法や法施行令、市条例などの解釈も含め、今年度実施する可能性調査で代替公園の必要性や場所について、調査を進めて行く。

問 市商業ビル周辺が候補地に追加された場合、新たに調査しなければならない事項は。

答 他の候補地と比較して小さいことから、市民の利便性を考慮した駐車場の場所、形態等の調査、あるいは区分所有権者の意向確認、テナント等事業者との意向確認などが考えられる。市商業ビルを候補地として追加することになれば、新たに補正予算を計上する。

問 旧計画では未来のまちづくり委員会による専門的知見を基に、整備地が答申された。新たな4候補地に関し、専門的知見による検証を得る機会はあるか。

答 外部の有識者等ではなく、市民との対話をベースに進めていくこととしており、外部の有識者等の委員会を設けることは考えていない。

市政一般に対する質問と答弁



岸 一夫 議員

交通安全について

問 中蜂屋引田地域内の三叉路で農免道路を横切るため横断歩道を設置してはどうか。

答 主要地方道美濃加茂和良線と市道井口石橋線の交差点については、交差角が直角またはそれに近い角度ではないため、現在の交差点形状では横断歩道の設置は難しい旨の回答を警察から頂いている。交差点の形状、市道井口石橋線の線形を調査し、県や警察と連携して、横断歩道の設置も含めて安全な交差点となるよう検討していきたいと考えている。

水道配水管の接続について

問 加茂野町今泉地域の住民の家の前で、水道配水管が行き止まりになっていることについて、そのようなところは他所にもあるか。

答 水道の配水管については、末端が行き止まりとなる片送りの配水管となっている場所は他にも多数ある。片送りの配水管は加茂野町今泉地内では40

カ所以上ある。市内全域では数百カ所になる。延伸工事は受益者負担になる。末端での給水となる箇所の水質については、本管の排水をするなど適正な水質が保たれるように管理をしている。

プレミアム付き商品券について

問 物価高や料金値上げのために生活支援として全市民に商品券を無料給付することについて。

答 生活支援として物価高騰対策には、現在国において「定額減税」や、住民税非課税世帯等には給付金による支援が実施されているところであり、現時点では市独自で商品券の給付等を行うことは考えていない。

問 前回好評であったので、今年度もプレミアム付き商品券を販売することについて。

答 本市がこれまで実施した「先得みのかも応援チケット事業」あるいは「とくとく先得みのかも応援チケット事業」については、その財源は国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して実施している。同規模の事業を市単独の財源で行うことは、市の財政上難しいものと考えており、現時点ではプレミアム付き商品券の販売は検討していない。



山田 栄 議員

新庁舎建設事業候補地について

問 大手町公園周辺は土地区画整合法違反とならないのか。

答 土地区画整合法は、土地区画整理事業に対し、誰が、どのような方法で、いくらの費用負担で行うかなどを規定することにより、健全な市街地造成を図り、公共の福祉増進に資することを目的とした事業手法を定める法律であり、大手町周辺は、美濃太田駅北土地区画整理組合事業として岐阜県の認可を受け、昭和57年から平成3年まで事業を施行した。現在、同組合は事業の完了と共に清算を終え解散しており、土地区画整合法違反とはならないと考えている。

問 新庁舎候補地用地確保について。

答 4つの候補地は、すべて半径500mの円の中心にある市が所有する土地に本庁舎を整備することを想定している。ただし、新庁舎の整備に必要な面積が確保できない場合は、半径500mの円内で整備計

画を考える予定でいる。

問 現庁舎のリノベーションについて。

答 今年度実施する可能性調査では、既存の建築物に工事を加えて価値を高めるリノベーションの活用について調査を実施する。実施する理由は、長期的な視点での財政負担の軽減である。令和4年度に実施した4,000人市民アンケートなどの市民の声には、財政負担を抑えた庁舎整備を求める声が多数あった。本庁舎は昭和36年に建設されてから63年が経過しているが、大規模改修を行うことにより建て替えよりも、安価に整備できる可能性がないか検討し、軽減できた場合、その財源を他の事業へ充てることも可能となる。まずは、現在のコンクリートの耐用年数を把握し、どれくらいの費用で、どのようなリノベーションが可能であるかを調査したいと考えている。建物本体の工事費を55億円から60億円を見込む非常に大きな事業であるからこそ、様々な検討を行った上で、前に進むことも必要な視点であるとと考えている。

市政一般に対する質問と答弁



森 厚夫 議員

執行部組織について

問 副市長二人制は。

答 新型コロナウイルス感染症や、近年全国で想定を超えた災害が発生するなど、行政ニーズや市民ニーズが増大し、多様化している。さらに事業実施の迅速な決定や適正な事務処理の実行にあたってのトップマネジメントの必要性も感じていたことから導入を決断した。

問 両副市長の役割分担等の確認取り決め事はあるか。

答 「副市長担回事務規則」を定め、それぞれの部単位での役割分担を行っていく。市長をしっかりとサポートしながら、二人制に依る効果を発揮できるように努めていく。

新庁舎建設について

問 複数候補地の可能性調査は。

答 「どのような課題があるのか」「整備費用はどれ

くらいか」などを把握するために、実施する。

問 サウンディング調査とは。

答 対話型市場調査とも言い、市有地の活用方法などについて、公募により民間事業者から広く意見や提案を求め、事業への有効な意見やアイデアを得ることを目的とした調査の事を言う。

問 サウンディング調査の実施目的は。

答 新庁舎に求められる役割や機能を充実させるため、また、今後策定する基本計画や事業手法の参考とするため、公募により民間事業者から広く意見や提案を求めるものである。

問 具体的にどのように進めるのか。

答 7月に公募を開始、8月から9月にかけて事業提案の資料の受理及び事業提案者との面談を行う。

問 タウンミーティングとは。

答 地域住民の生活に関わるテーマを話し合う対話型の集会の事である。

問 タウンミーティングの実施目的は。

答 複数候補地の可能性調査の結果内容を市民の皆様と情報共有するとともに、市民同士の対話、市長との対話を行うことによって、お互いが新庁舎整備に関する理解を深めることを目的としている。



永田徳男 議員

東図書館駐車場整備事業について

問 今後、予定されているスケジュールは。

答 東図書館利用者の利便性の向上を目的に、令和5年度に旧JAめぐみの古井支店の跡地を購入し、現在の進捗現状は、5月29日に設計業務の委託契約を、指名競争入札により決定・締結し、8月30日を業務完了期限としている。

10月上旬に駐車場整備工事の請負事業者を決定し、令和7年2月中旬の完成を目指す。

問 「おもいやり駐車場」はあるが、「シニア」専用の対応はできないか。

答 現在、東図書館駐車場は、おもいやり駐車場の駐車区画は2区画あり、おもいやり駐車場は高齢者も含まれ、高齢者専用の駐車区画はない。

今回の駐車場は、間隔にゆとりをもたせ、高齢者の方にも駐車しやすいよう協議をしており、車椅子の使用者用駐車区画と、おもいやり駐車場は、駐車区画数に応じ、必要な区画数を確保する。

治水について

問 「内水氾濫」の対応は。

答 木曽川の内水氾濫対策は、7カ所の雨水排水ポンプ場施設と2カ所のゲート機場の運用と、雨水排水管渠の整備であり、現在は下米田地区において事業を行っている。今までに加茂川排水機場の増強や加茂川の改修、雨水貯留施設の整備などを実施し、河川カメラ等による河川情報の提供、雨水貯留施設の設置費用の助成など、総合的な対策を実施してきた。今後、線状降水帯に対しては、河川情報などの確に把握し、迅速な対応をしていく。

問 美濃加茂市は「水害」に対して安全か。

答 関係機関と調整し計画的にハード整備を進め、流域治水の考え方に基づいたソフト事業を含む様々な治水対策を実施してきた。その結果、治水安全度は、間違いなく向上していると考えている。

しかし、豪雨災害が激甚化・多発化する中、美濃加茂市が「水害」に対し安全であるとは断言できない。

市は、流域治水の考え方で、国・県、関係機関と連携し、ハード・ソフト両面の対策・施策を継続し、安全安心なまちづくりを推進していく。

市政一般に対する質問と答弁



亀井滋昭 議員

公式LINEについて

問 リニューアル後の活用状況及び今後の展開は。
答 LINEの登録者数は、本年5月末現在11,087人、リニューアル後の8カ月間で、およそ6,400人増加している。また搭載機能は、6項目6メニューから、現在12項目およそ80メニューとなっている。今後は、目標としている24,000人の登録を目指し、「スマホ市役所」として、多くの市民が利用できるよう、引き続き更なるサービスの拡充に努める。

リバーポートパーク美濃加茂について

問 バasketコートの使用上のルールは。
答 現在は閉館日の火曜日を除く、午前10時から午後5時までに利用を制限している。今後は利用の多い外国人を含めた利用者にルールを徹底する。どのように周知すれば良いかを検討し、多文化共生社会の実現に向けて取り組んでいきたい。



瀬瀬源太 議員

市の人口ビジョンについて

問 人口戦略会議で当市が岐阜県で唯一「自立持続可能性自治体」とされた。評価及び要因は。
答 市のまちづくりの結果と受け止める。要因は外国籍の方を含め、若い女性の転入が多い事である。
問 自立持続実現のためのビジョンは。在住外国人の生活環境整備は。
答 第3期総合戦略で教育、子育てに注力。外国人市民については「言葉の壁」が課題。「日本語教室」「放課後学習支援」等では不十分、「第4次多文化共生推進プラン」策定に向け問題把握に努める。

子育てしやすいまちづくりについて

問 18歳以下の医療費無償化未実施は財政事情に特別な問題があるのか。
答 子育て支援全体の中で総合的に判断していく。
問 学校給食費について、第2子を半額、第3子は無償に対する見解は。

自治会について

問 自治会の意義、目的と役員の負担感は。
答 住みやすく豊かな地域づくりを実現するため、地域住民によって自主的に結成された自治組織であり、地域における課題解決、安全・安心な環境、次世代の暮らしを守るため、重要な役割を果たすと認識している。市から自治会へ依頼している役員選出については、自治会が本来の活動ができるよう、業務の目的の明確化も含め担当課へ見直しを依頼している。

市民皆歯科健診について

問 受診率は。
答 例年の5歳刻みでの歯周病検診の受診率6%を加味し、見込みを立てている。4月、5月と順調に受診者数は増えており、受診率で比較すると増加している。検診に対する意識が変わるような数値目標を毎年更新していくため、2桁目標も可能であると考えており、受診率の向上に向け取り組んでいく。

答 教育関係で他の課題が多く、優先順位をつけざるを得ない。

PTA活動の資源回収奨励金の検討状況は。

答 奨励金は他市と同等になるよう、制度設計をしたうえで、来年度予算要求をする予定である。

不登校児童の居場所への経済支援は。

答 保護者の負担軽減について、民間施設・学校・行政の連携・協力も含め調査研究する。

企業誘致について

問 市の企業誘致は。
答 2011年の条例改正後19事業者を誘致した。固定資産税相当額を交付する奨励金は10年、一人当たり5万円の雇用促進奨励金は10年、工業用水使用奨励金は20年を限度としている。

優遇措置は県内で突出している。利点と欠点は。

答 18事業は継続し市政の推進に寄与している。「事業所設置奨励金」では、納入された固定資産税と相殺されるが、奨励金交付期間の延長により、その支出が増加する。

他市の優遇は長くて5年。10年を6年にしても優位、節減した分を住民福祉に充てては。

答 優遇措置について、社会経済情勢に照らし検討が必要と考える。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- ・時代は動いており、少しずつですが変更も必要で、しっかりとした議会運営が行われていると感じました。
- ・天候が悪い中でも大勢の方が傍聴にみえており、関心のある方が増えたのだと感じました。質問も保育士の問題、若い世代の問題から高齢者の問題、ゴミ問題など興味深く聞かせていただきました。
- ・議会活動（市政）を知るために傍聴に参加させていただきました。活動を知ることができました。議会だよりを読まれている方も議会を傍聴してください。違った観点から大変勉強になると思います。
- ・難しいかも知れないけど、傍聴しに来た人は一般人、難しい回答では聴く人が子どもでも分かる様な説明だともっと感心を持って貰えると思った。

議 会 日 誌 (主なもの)

5月	7日	市シルバー人材センター定時総会
3日	8日	少年の主張美濃加茂大会 ダボ派遣研修会
7日	17日	ねんりんピック岐阜2025美濃加茂市実行委員会総会 市国民健康保険運営協議会
9日	20日	新庁舎建設特別委員会
13日	21日	議会運営委員会
15日	28日	美濃加茂商工会議所通常議員総会
17日	7月	
18日	1日	議会だより編集委員会 全国市議会議長会建設運輸委員会
19日	2日	文教民生常任委員会行政視察（～3日）
20日	4日	東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会定期総会
21日	5日	可茂地域一部事務組合議会臨時会
22日	8日	予算決算常任委員会 国道41号美濃加茂・下呂間強靱化推進同盟会定期総会
23日	10日	リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会定期総会
24日	11日	議会だより編集委員会 美濃加茂市・富加町中学校組合議会
28日	17日	岐阜県市議会議長会議
6月	18日	議会だより編集委員会 議会改革特別委員会 市木曾川右岸用水土地改良区臨時総代会
4日	25日	四線促進期成同盟会通常総会
5日	29日	議会運営委員会 議員研修会（ハラスメント研修）
6日	30日	国道418号整備促進期成同盟会定期総会
	31日	野洲市議会行政視察

市議会のホームページが 新しくなりました!

市のホームページがリニューアルしたことに合わせ、市議会のホームページも新しくなりました。やさしい日本語変換に対応し、文字サイズの拡大や背景色の変更ができるようになりました。

■美濃加茂市議会 アドレス
<https://www.city.minokamo.lg.jp/site/gikai/>



本会議の様子は、議会中継でチェック!

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索



行政視察の報告



「文教民生常任委員会」

委員長 金井 文敏

5月13日に揖斐川町にある西濃学園中学校を視察しました。不登校特例校で文科省の指定を基に、不登校の児童生徒の実態に合わせて弾力的な教育課程を編成されていました。学校法人西濃学園は不登校生徒を対象とした中学校と高等学校を運営しています。中学校の定員は20人で、生徒一人ひとりの学習レベルに応じた個別対応を行っています。授業では基礎学力の定着を重視し、地域活動や体験学習も行っています。学生寮を併設しており、集団適応能力を身につけることを目指しています。また、臨床部を併設しており、カウンセリングやさまざまな心理検査が可能です。大自然の中でのびのびと授業を受ける生徒を目の当たりにして大変実りのある視察となりました。



「企画建設常任委員会」

委員長 渡辺 孝男

5月15日・16日の両日、長野県の須坂市、上田市、諏訪市を視察しました。須坂市では、地域未来投資推進法を活用する事で農地転用を可能にし、開発面積約78.08haを使い、ものづくり産業や観光集客施設などが整備されていました。上田市では本庁舎建替え・南庁舎の改修事業について説明があり、本庁舎の建替えでは、地震対策に免震装置を採用し、水害については昔から大きな水害が少ないために、水害対策は力を入れてないとの事でした。諏訪市では「すわっチャオ」諏訪市駅前交流テラスがあり、子供から大人まで利用できる施設が整備されていました。今回の視察で学んだ事など、市の発展に向け進めてまいります。



新庁舎建設特別委員会で羽島市役所を訪問しました。 委員長 山田 栄

5月20日羽島市役所を視察いたしました。令和3年11月に開庁した羽島市の新庁舎は総合窓口機能を持ち、ユニバーサル対応の案内サインを採用し、視認性の良い構造になっています。地震対策として非常用発電設備等のライフライン対策や情報・防災庁舎と連携し、市民の命を守る防災拠点の機能を持っています。さらに、太陽光発電設備や豊富な地下水利用の庁内空調などの自然エネルギーの活用と環境問題にも配慮した構造でした。事業費、財源の問題等についても意見交換ができ有意義な研修ができました。



議員表彰

令和6年度全国市議会議長会及び東海市議会議長会の定期総会において、下記の議員が表彰され、議長から表彰状の伝達を行いました。

柘植宏一議員

議員在職：20年以上



次の定例会の予定

令和6年市議会第3回定例会

8月28日(水) 初日
9月11日(水) 一般質問
12日(木) 一般質問
13日(金) 一般質問/質疑
27日(金) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

本定例会において、議員による辞職勧告決議案が提出されたが否決された。議会がハラスメントについてどう対応するのか、注目が集まった。結果はどうであれ、賛成・反対討論と、委員会で活発な議論が交わされた事については意義があったと考える。

議会最終日には、議会の規律（コンプライアンス）決議案が可決され、我々議員の規範意識、ハラスメント意識のさらなる向上へ向けてしっかりと進めていく。

市民の代表である議員がどうあるべきかを考え、議論・検討し、早急に議会改革を推し進める。 谷本 梓

第2回定例会の議場装花



市の花：あじさい

市議会では、政務活動費の支出内容の明確化と透明性の確保のため、各党派の政務活動費の収支報告書・出納簿及び領収書を、ホームページにて公開しています。(公開内容は令和5年度分)

「市議会ホームページ→情報公開→政務活動費支出状況」からご覧いただくことができます。引き続き、健全な議会運営に努めてまいります。

次回の議会だよりは、令和6年11月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ（ご意見）、はがき、ファクス、メールにてお寄せください。

